

# 教育委員会だより

# いそぎく

発行日 平成24年11月1日  
編集・発行 葉山町教育委員会教育総務課  
〒240-0112 三浦郡葉山町堀内2050-9  
TEL. 046(876)1111  
FAX. 046(876)1861

## 第241号

### 葉山町青少年創意くふう展

九月十四日(金)から十六日(日)の三日間町保育園・教育総合センター二階の学びの広場、研修室、会議室において「葉山町青少年創意くふう展」が開催されました。

同展は、町立小中学校に通う児童生徒が、夏季休業中に、自主的に創作し応募した作品を展示しました。

本年度の出品数は創意くふう部門二七点、工作部門二一九点。開催三日間の入場者数は八二六人でした。創意くふう部門では九作品が入賞し、一月に行われる、神奈川県創意くふう展覧会に出展されます。工作部門では、二点が入賞しました。

また、創意くふう部門で三回以上の入賞者に与えられる特別賞は、葉山中学校の角田エコさんと、南郷中学校の倉本愛美さん、長柄小学校の倉本皓司さんの三名に授与されました。

三名とも最初の入賞をきっかけに創意くふう作品に興味を高め、一年間かけて、日常不便に思っていることから、アイデアをいくつも考え、その中から試作品を何通りか作り、さらに作品数を絞って改良を重ねているそうです。

倉本さんは、姉弟での入賞ですが、お互い別々に考え、試作品までできたところではじめて家族の意見を聞いているそうです。

また、角田さんは中学三年生なので、

最後の応募となりましたが、「創作は続けて行きたい」と話してくれました。

### 【創意くふう部門】

#### 町長賞・特別賞

##### 『折りたたみ笠』

葉山中学校 三年 角田 エコ



傘を持つと手がふさがってしまします。小さい子を抱っこしている人を見て大変そうだと思っていたところ、偶然昔の「笠」をテレビで見えてこれを現代風にリメイクできないかと考えました。

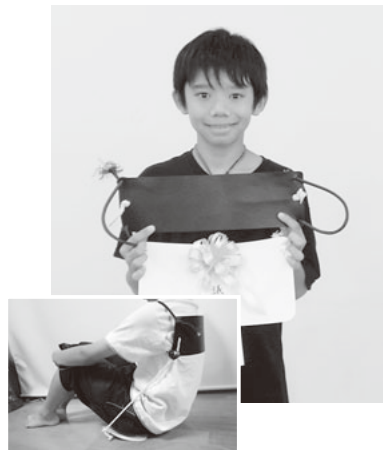
この折りたたみ笠は、昔の笠のように頭にかぶることができ、折りたたみ傘のようにコンパクトに持ち運べます。今回は布で作りましたが、これをビニールなどの防水できるものに換えれば、雨の日でも使えます。骨組みを板で作り布を両面テープではりつけているなど、構造がシンプルなため、丸みを帯びた笠などにも応用できます。

(審査員の講評) 小さく折りたためて持ち運びに便利で、使用時には両手を使える笠を実現するため、現代の傘と昔の笠の構造を調べて、全く新しい笠の構造を創出しています。さらに、深くかぶれる構造、布の形状や裁断方法、固定方法など、試行錯誤を重ね丁寧に練り上げられています。

#### 議会議長賞・特別賞

##### 『どこでもラクラクチェア』

長柄小学校 六年 倉本 皓司



公園に行くと背もたれのないベンチに座ったときに、いっしょに行っておばあちゃんが辛そうだったのでこの作品を思いつきました。

工夫した点は、よりかかる部分を背中に背負うことで体にフィットさせ、ずり落ちないようにしました。パイプなどを使わなくても、ひものバランスで体をささえる事ができます。持ち運びが楽で、特にお年寄りにおススメです。

(審査員の講評) 紐で結ばれた二枚の柔らかい薄板で背もたれのある椅子を考えられています。背もたれの板を肩に背負う固定方法を選ぶことによって、背中を効率良く支えることが実現されています。

教育長賞

『洗濯ピンチ止め』

葉山中学校 三年 滝本 龍之介



どうしてこの作品を作ったのか、それは親が洗濯物に困っていたからです。洗濯物が風で回ると、他の洗濯物とからまってしまうのです。からまると、洗濯物をとるのがめんどろになりませう。そこで、洗濯物を回らないようにするにはどうすれば良いか、色々考えた結果、この「洗濯ピンチ止め」を作りました。工夫したところは、だれでも作れるように安い素材を使ったところです。今回、初めて創意くふう作品を作って、まさか自分が賞を取れるなんて本当に驚いたし、賞がとれて本当にうれしいです。

優良賞・特別賞

『沈没防止クリップ』

南郷中学校 二年 倉本 愛美



夏休みの福祉体験学習に行った時、利用者の方が、お皿の中にスプーンが落ちそうになって困っていたのを見て、この作品を考えました。レンゲが、丼に滑り落ちないようにするためや、料理中におたまなどがボウルに沈まないようにするため、フックを簡単に取り付けられるように、クリップの後ろにフックをつけたことです。多様な形状のレンゲをはさむことができ、安定して保持するために、噛み込む部分に滑り止めがついているスポンジをつけてあります。小さい子からお年寄りの方まで対応できるように考えて作りました。

優良賞

『砂だけとれるちりとり』

一色小学校 四年 長岡 界都



作ったきっかけは石と砂を手分けしている人がいたので、こういうものがあつたら楽だと思つたからです。工夫したところは、あみをはつて中には、砂だけ入るようにしました。そうすることで、石と砂を分けることができるようになります。

優良賞

『ぬげないサンダル』

葉山小学校 二年 折井 智巳



ぼくがこのぬげないサンダルをつくったきっかけは、いつも海に行つたときに、はしるとサンダルがぬげってしまうので、つくりました。くふうしたところは、みんなのいえにもある、ゴムをなん本かつかえば、かたんにつくれるところです。

(審査員の講評) 洗濯ものハンガーの回転を防止するために、ハンガーを外側から引っ張る方法に着眼しています。ピンチとフックと双方を結ぶチェーンという簡単な構成ですが、回転中心から離れた位置でハンガーを引っ張ることができ、効果の高い作品に仕上がっています。

(審査員の講評) レンゲが丼やボウルに滑り落ちないようにするため、レンゲにフックを簡単に取り付ける方法を考えています。多様な形状のレンゲを挟むことができ、安定して保持するために、噛み込み部分にスポンジを配しています。

(審査員の講評) 砂を振るい落とすのではなく、砂を分離して集めることに特化した作品です。ちりとのりの上側と前側にはネットを取り付けた構造によって、ちりとのりに向けてほうきで掃くと、石や葉はネットによって遮られ、砂粒だけがネットを通過して、ちりとのり内に集められます。

(審査員の講評) ビーチサンダルが簡単に脱げなくするために、ビーチサンダルと足のかかとを固定する方法を考えています。ゴム紐の一端を鼻緒に取り付け、他端は足の親指に引っ掛ける輪になっています。ゴム紐をかかとに回すことによって、ビーチサンダルが足に向かって引っ張られて、鼻緒から外れることを防止しています。

優良賞

『消しかす入れ』

葉山小学校 六年 松島 李佳



宿題をしている時、机の上にたまった「消しかす」を片付けたいと思ったときにひらめいたアイデアです。机から落ちないように、おもりでバランスをとるのが難しかったです。おもりに、使い古しの乾電池を使って工夫しました。

(審査員の講評) 机の端から消しゴムのかすを落として集めるために、机の端の下側にかす受けを固定する方法を考えています。机の外側にせり出すように配置された、かす受けが落下しないように、バランスを取るための重りを配置しています。

優良賞

『手がよごれん』

葉山小学校 四年 折井 睦巳



ほくが、「手がよごれん」をつくた理由は、手の紙につく部分が、黒くよごれて、洗うのや、手がよごれるのが、いやだったからです。工夫したところは、うでが太い人も入るように、うでを入れるところをゴムにしたのと、手がざつたいによごれないように、布を大きくきった所と、洗たくできるように、布で作った所です。

(審査員の講評) 紙に鉛筆で筆記する際に、既に書いてある字を手で平で擦ってしまうことを防止する方法を考えています。当て布は、手首から小指にかけて紙に当たる部分の形状に裁断されており、手首にゴム紐で固定する構成になっています。これによって、紙を覆う範囲を小さくしながら、手の動きに確実に追従する効果を実現しています。

優良賞

『手紙入れ&ガキかけ』

上山口小学校 四年 柳沢 笑温



手紙を入れる箱が小さく、古くなりガキをかける場所が少なかったので作りました。工夫した点は、ペットボトルのフタに合わせて穴を開けて接着剤を使わず固定させたことです。

(審査員の講評) 大型で角形のペットボトルの形状が、手紙を一時的に収容する目的に適していることに着眼して、板にペットボトルを倒立状態で固定する方法を考えています。

平成二五年一月二四日(木)～二七日(日)には、「葉山町小・中学生作品展」が福祉文化会館及び教育総合センターにて開催されます。小・中学校の授業等で作られた、二千点を超える作品が展示される予定です。

【工作部門】

工作部門は、自由に作成した作品です。今年も、個性あふれる作品のたくさん応募がありました。優秀賞は次のとおりです。

学年	学校	氏名	作品名
1年	長柄小	石井 智	東京ドーム
1年	長柄小	石田 菜海	海の見えるクルクルとこやさん
2年	葉山小	吉田 康人	あめんぼう
2年	上山口小	竹内 一翔	たいようけい
2年	一色小	かぶとちよ金ばこ	
2年	一色小	小林 隼	はりねずみ
3年	葉山小	長澤 美海	夏の大井川でつ道
3年	葉山小	加茂 響	ひびきのたのしいたのしい夏休み2012
3年	上山口小	遠藤 心	きんぎょや
3年	上山口小	山田 雅	森の音楽会
3年	上山口小	加藤 慎二郎	塩の結晶スカイツリー
3年	一色小	印南 大河	どうぶつタウンにスカイツリーをつくらうの本
4年	葉山小	堀越 大真	虫の楽園
4年	長柄小	藤森 漁太	海の中の兄妹たち
4年	一色小	塩野 華矢	折りたたみ貝からテーブル
4年	一色小	高橋 剣吾	ウチナー三線
5年	葉山小	長澤 悠真	サッカーボール
6年	葉山小	田村 渚月	レインスティック
6年	葉山小	鈴木 まりあ	立体葉山
6年	一色小	勅使河原 萌	ハウス
6年	一色小	木村 浩輝	豎穴住居

# 長柄桜山古墳群 史跡指定十周年

約一六〇〇年余り前の古墳時代前期後半（四世紀後半頃）に相次いで造られたと考えられる「長柄桜山古墳群」は、逗子市と葉山町の境界線上にまたがって位置する、県内最大級の前方後円墳です。

二基の古墳が発見されたのは平成十一年。平成十四年十二月に国史跡に指定されてから、今年で十年になります。これまでの発掘調査で次のようなことがわかりました。

## 〈第一号墳〉

- ①全長九一・三mの前方後円墳。
- ②墳丘は、地山の岩盤等を削り出して成形した上に約一・五m盛土して築かれていた。
- ③後円部は三段、前方部は二段の段築（墳丘の途中に段を作って築く工法）が施されていた。
- ④後円部の地下には、粘土で覆われた木製の棺が一基埋葬されていた。
- ⑤後円部墳頂には、埋葬施設を囲うように円筒形や壺形の埴輪が立てられていた。

## 〈第二号墳〉

- ①全長約八八mの前方後円墳。
  - ②墳丘表面には川原石等を用いた葺石が施されていた。
- ※構造等は本格的な調査を実施していませんため未詳。

## 第一号墳の整備計画

平成二二年度には、次のような整備基本計画を策定しました。

- ・造られた当時の姿をそのまま復元するような整備はしませんが、保存のため全体に盛り土をした上で、見学者が歩きやすいように園路や説明板等を設置します。
- ・墳丘上の樹木は、根が成長して古墳を痛めるため、ある程度伐採するほか、眺望を確保するよう枝打ち等を行いつつ、周辺の豊かな自然環境にできるだけ配慮した整備をします。
- ・第一号墳については、今後約十年をかけて整備を進めます。平成二四年度は主に墳丘周辺の樹木を伐採します（現在作業中）。



## 古墳をまもる町民の活動

発見直後から、町民市民の自主的な活動をきっかけに、古墳パトロール活動が開始されました。現在、町民市民約七〇人が登録し、月に一〜二回、グループ単位で活動し、古墳の保護を行っています。（パトロール員は随時募集中）

また、「長柄・桜山古墳を守る会」等の市民団体の活動も活発で、団体見学の際のガイドや自主的な講演会・勉強会を企画するなど、古墳の保存と普及啓発活動に活躍しています。

今後ますます多くの町民の方々に古墳の保護に関心をもっていただき、わたしたちの掛けがえのない財産を後世に伝えていきたいと思っています



### ○長柄桜山古墳群出土品展○

場所 しょさい博物館内、くつろぎゾーン  
 期間 平成24年10月13日(土)～  
 平成24年11月28日(水)  
 平成24年11月3日(土・祝) (しょさい公園無料開放日) には学芸員による展示解説を行います。

問合 生涯学習課 山口 (内7223)

### ○史跡指定10周年記念講演会○

古墳の専門家を招いて、長柄桜山古墳群の具体像に迫ります。  
 日時 平成24年12月1日(土)午後1時半～5時  
 場所 逗子市庁舎5階 会議室  
 講師 広瀬和雄氏 (国立歴史民俗博物館・総合研究大学院大学教授)  
 申込 住所・氏名・電話番号を添えて電話・ファックス・窓口で生涯学習課まで 先着120名！  
 主催 葉山町教育委員会・逗子市教育委員会

※発掘調査成果のスライド説明、出土遺物のミニ展示も行います。

問合 生涯学習課 山口 (内7223)